

日本イスパニヤ学会 2022 年度第 2 回理事会議事録

日時:2022 年 7 月 24 日(日)13:00~15:30

場所:Zoom 利用によるオンライン会議

出席者(ABC 順):安保寛尚、糸魚川美樹、松本健二、中井博廉、仲井邦佳、成田瑞穂、西村君代、野村竜仁、大楠栄三、大森洋子、高松英樹、竹村文彦、立岩礼子、土屋亮、山村ひろみ、安富雄平

欠席者:なし

議題:

<審議事項>

(1) 前回議事録の承認

・2022 年度第 1 回理事会(4 月 10 日開催)議事録案が承認された。

(2) 2022 年度第 68 回大会について

実行委員長仲井理事より大会開催概要・プログラム案について報告され、以下のように審議・承認された。

・開催形態は、原則対面としつつ、今後コロナウイルス感染状況が悪化した場合はオンライン開催へ変更すること、その最終判断は 9 月上旬におこなうことが承認された。

・発表希望者 2 名に関する現状および問題点が報告され、対応策が承認された。

・大会プログラム案が承認され、分科会、記念講演、シンポジウムの司会を決定した。

・対面開催の場合、大会 1 日目の懇親会は実施せず、会場近くの飲食店を案内することが承認された。

(3) 学会奨励賞について

・機関誌編集委員長野村理事より、学会奨励賞対象者選考手続きについて、慣例と規程に齟齬があることが報告された。それを踏まえ、規程に従い、理事会より編集委員会へ選考に関する意見書を求めることが承認された。さらに編集委員会には、選考審査委員会の設置を含めた規程の改訂案の検討を依頼することになった。

・今年度の奨励賞受賞者の決定は、次回理事会までにメール審議で行われることが承認された。

・編集委員長野村理事より、次号機関誌に論文 6 本(言語 2、文学 1、文化 1、言語教育 2)と書評 2 本(言語 1、言語教育 1)の掲載が決定したとの報告があった。また、機関誌の投稿方法の電子化については継続して検討中であることが報告された。

(4) 大会講演者への謝礼について

・大会講演者が名誉会員である場合は、非学会員と同様の扱いとし、謝礼金(原則 3 万円、特例 5 万円)を支出すること、また交通費に関しては、大会開催費より支給することが申し合わされた。交通費支給に不足がある場合は理事会にて追加支出を検討する。

・これまでの謝礼金、交通費の支出実態について、会計担当で確認・報告するよう依頼があった。

(5) 大会開催案内における入会申込期日の明記について

・庶務委員西村理事より大会開催案内に記載する文案が提示され、微調整のうえ承認された。

(6) 2023 年度予算案について

会計委員高松理事より 2023 年度予算案の説明があった。理事・監査改選費を計上する必要があるとの指摘があり、修正案を改めて提出することになった。

(7) 2023 年度第 69 回大会開催校について

・第一・第二候補であった大学から辞退の回答があったことが報告された。第三候補である中央大学の高松理事より多摩キャンパスで開催が可能であるとの報告があった。また、具体的な開催日程は今年度総会において告知されることになった。

(8) 次回理事会開催について

・2022年10月1日(土)11:00～立命館大学衣笠キャンパス学而館にて開催することになった。第68回大会開催方式がオンラインになった場合はZoom利用によるオンライン会議となる。

(9) その他

・特になし。

<報告事項>

(1) 会員異動

・2022年4月から2022年6月までの新入会員は9名、退会者は3名であったことが報告された。2022年7月1日現在の会員数は347名+21機関である。

(2) 会計報告

・会計委員大楠理事より2021年度の会計報告があった。学会奨励賞の副賞が支出項目に含まれていないことが指摘され、確認修正のうえ後日理事会に報告されることになった。[8月2日、「2021年度日本イスパニヤ学会奨励賞副賞未送金についての報告書」が会長、副会長に送付された。]

(3) 会報の進捗状況

・広報委員土屋理事より、会報28号発行準備の進捗状況の概要が報告され、詳細については広報委員長仲井理事より後日メールにて報告されることになった。[7月28日理事会メール報告:投稿予定は計13本。今年度の学会開催日が早いとため例年より約1週間早めに作業日程を組んでいる。]

(4) 教員免許状の名称について

・山村会長より、「外国語(イスパニア語)」と「外国語(スペイン語)」を同一の免許科目として取り扱う旨、東京都教育委員会の通知があったこと、それにより関連する問題が解決されたことが報告された。また、他の都道府県において同様の問題が生じた場合には、東京都の前例があることを周知するよう依頼があった。さらに本通知内容は次号の会報へ掲載する提案があり、その方向で進めることが確認された。

(5) その他

・特になし。